

県高P連会報

第 106 号

2012.2

編集発行

富山県高等学校PTA連合会

発行人 会長 毛利 一朗

富山市千歳町1-5-1

富山県教育記念館41号

TEL 076(432)2810

FAX 076(432)1501

平成23年度富山県高P大会・指導者研修会開催される

平成23年度富山県高等学校PTA大会・指導者研修大会が10月25日、名鉄トヤマホテルで開催されました。

開会式では、毛利一朗会長から「来年度、7月に北信越地区高等学校PTA連合会研究大会富山大会が富山市で開催される。この大会は各高校のPTAの皆様のご尽力がないと成功しないと思っています。役員を引き継がれる時にお伝えいただきたい。また、8月に入ると北信越がやき総体富山大会と全国高等学校総合文化祭富山大会が開催される。特に全国高総文祭は全国から約2万人の高校生が来県するという大きな大会である。PTAでどれだけ協力できるかわからないが、どちらも高校生が中心となつて行う大会であり、皆様方にも、ぜひ来年に向

けてお力添えをいただきたい。」との挨拶がありました。

次に来賓の寺林敏県教育委員会教育長より「皆様方には、日ごろ本県高校教育の充実、振興、青少年の健全育成などに多大なご尽力を賜っている。さわやか運動で生徒の規範意識の向上を図っていたいたり、特色あるPTA活動では、保護者自らがご自分の職場体験を話していただく進路講演会や親子交流会など様々な取組を行っていた。県としても新高校5校の開校や探究科学科の開設などを進めている。また、新規に富山の県立学校元気創造事業を実施して、すべての県立学校が中長期ビジョンを実現するための実効性ある取組を推進している。来年度、富山県で全国高校総合文化祭や全国総合体育大会が開催される。富山ならではの心に残る大会となるよう努力していきたい。皆様方のご支援ご協力をお願いしたい。本日の大会での成果をもとに、富山県高等学校PTA連合会の一層の発展を願っている」と祝辞をいただきました。

つづいて「活力あるPTA活動をめざ



毛利会長挨拶



発表者

して」をメインテーマに、4校のPTAから研究発表が行われました。

一 雄山高等学校の生活指導とPTAの取組み

雄山高校PTA会長

浦田 一哉

二 本校の特色あるPTA活動と学校生活・家庭生活・社会生活の向上をめざして

富山商業高校PTA会長

宮本 真治

三 親子の絆を深めるために

本校のPTA活動の取組み

高岡商業高校PTA会長

山崎 肇

四 定時制・単位制高校におけるPTA活動

新川みどり野高校PTA副会長

森 万里子

午後からの全体討議では、各発表校が取り組んだPTA活動への質疑応答や意見交換が行われました。

その後、助言者の齋藤幸江生涯学習・文化財室家庭成人教育班長と清水好勝高岡高校長から講評をいただきました。

齋藤班長は「発表を聞いて、全体として三つのことが言えると思います。一つ目には、学校と家庭がしっかりと連携して、深い愛情を持って子どもたちの自立に向けた取組みを行っている。二つ目には、各学校の校風や地域とのかかわりを大切にした活動を行っている。三つ目には、携帯電話のマナーや生活習慣など、普遍的な課題をよく調査、分析し、工夫を凝らした取組みを行っている」と助言されました。また、清水先生は「発表を聞いて、生徒、保護者、学校の三位一体の取組みが感じられた。例えば、PTA総会等への参加を増やしていくために授業参観と合わせて総会を開催する。しゃべり場やアンケートなどいろいろな場で、生徒や保護者の本音を聞き、PTA活動に取入れていく。保護者の方々が学校行事に積極的に参加して、共に歩むという姿を実践しているなど教育活動に力強いご支援をいただいている」と助言されました。

最後に、記念講演があり、「いまの生徒たちの心の病気と心のケア、かんたんなカウンセリングのコツ」と題して臨床心理士の山藤奈穂子先生が講演されました。(講演要旨は、安全振興会会報第6号に掲載してあります。)

共学共育

他校・他地区のPTA活動に学ぶ

他校のPTA活動を知ること、各校の保護者が今、高校生段階の子どもたちとどのように関わろうとしているのかという情報を共有し、次世代を担う子どもたちを共に育て、共に学んでいきましょう。

呉羽高校PTA

「呉羽高校におけるPTA活動への取組みについて」

本年度、本校は文部科学省より優良PTA文部科学大臣表彰を受けさせて頂きました。富山県教育委員会様をはじめとして、今日に至るまでの本校のPTA活動に係わって頂いた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、本校のPTA活動について、特徴的な点としては、「SPTA」と「芸術祭への協力」の2点が挙げられます。

(1) SPTA

SPTAのSは「STUDENT(生徒)」の「S」であり生徒・保護者・教職員の三者が一堂に会して意見を述べ合う懇談会です。

テーマは「芸術祭の運営について」

等学校生活での身近で具体的なものが多く、また、毎回生徒が参加する訳ではなく、そのテーマと合致する生徒達が出席し、保護者側も主と



してPTA役員が参加するため先生方を含めても総勢40名前後の懇談会になります。そのため、ほぼ参加者全員に発言機会があり、自由な雰囲気の中で意見交換が行われます。

このSPTAの利点はその討議の結果よりはむしろ、懇談会の中で保護者と生徒がそれぞれの生の声を聞くことができ、それに対して意見交換ができるという過程にあるのではないかと考えています。

(2) 芸術祭への協力

本校の中心的な行事である芸術祭において保護者主催の「食堂」を開催しています。「食堂」は芸術祭が一般開放されている土曜日に中庭において実施され、「焼きそば、うどん、フライドポテト、たこ焼き」等を実際に調理して提供しているため、参加者にも好評を頂いており、保護者と生徒あるいは一般の地域社会の方々と触れ合いの場としての意義も大きいものと考えています。



以上、簡単に本校のPTA活動の特徴的な点を報告いたしました。今回の表彰を励みとして、より一層の活動の充実に向けていきたいと考えております。

呉羽高校PTA会長 中村 厚

高岡工芸高校PTA

本校のPTAは、会長1名、副会長18名、監査2名および各クラスより2名(現在38名)の運営委員から構成され、それぞれ進路指導委員会、生活指導委員会、文化広報委員会、生涯学習委員会の4委員会に所属して特色ある活動をしています。

さらに本校の大きな特徴として『教育振興会』があります。これは「学校と家庭の関係を密接にして、学校の教育方針に協力し、生徒の学業活動及び福祉の増進に努めることを目的」(教育振興会規約)として平成3年に創設されました。特別活動助成や部活動振興助成、施設・環境整備助成などの助成事業が主体です。役員は退任したPTA会長と4つの委員会の委員長を中心に構成されています。PTA事業への参加や協力を通じて現役の役員との交流を図ることによって、活動への貴重な意見をいただいたり意識が高まったりと有意義なものとなっています。

PTAの活動は、進路指導委員会は、2年生を対象にした進路指導講演会を毎年12月に行っています。



す。この講演会は主に工芸高校の卒業生の方々に、今までの人生経験を語ってもらい、これからの進路選択を行うために必要なことを養ってもらうために行っています。もう一つの進路指導委員会では、毎年6月に、保護者を対象に、進路指導研修会として、大学一校、会社一社を訪問します。

生活指導委員会では、あいさつ運動を春と秋に行っています。また、PTA総会にて携帯電話についてDVDの視聴を行っています。

文化広報委員会では、広報紙の発行を年2回行っています。また、尚美展でのPTA模擬店を教育振興会と協力して行っています。

生涯学習委員会では、教養講座として物づくりを保護者を対象に行っています。また、自然探勝会を教育振興会の方々と一緒に行っています。



この行事は、もともと振興会とPTAの交流の多い行事です。

以上、工芸高校のPTA活動の特徴を説明しましたが、高校PTAの最大の目的は、皆さんも同じだと思いますが、生徒たちに如何に社会にでもうまく生活ができるように指導していくかということ、学校と協力して進めることだと思います。工芸高校では、良き伝統を守りながら、学校と協力してPTA活動を進めています。

高岡工芸高校PTA会長 勘坂清治

砺波高校PTA

「学校と家庭、社会の密接な協力の
もとに」

本校PTAは、会長1名、副会長9名、監事2名、各クラスから選出された理事45名の総勢57名の役員で構成されています。役員は、総務委員会・学習委員会・生徒生活指導委員会・保健委員会の4つの専門委員会とそれぞれの学年委員会に所属しています。

総務委員会は、PTA通信の発行や講演会の開催などPTA活動の全般的な企画を担当し、他の専門部の活動を援助し、専門委員会間の調整を図る中心的な役割を担っています。また学習委員会は、大学視察を行うなど学習指導の充実と進路指導の協力、生徒生活指導委員会は、朝のさわやか運動や砺波地区PTA連合会の夜間パトロール「Pバッジ」への参加など生徒の健全育成の協力、保健委員会は学校保健委員会への参加や保健だよりへの寄稿など学校保健の運営に協力し活動を行っています。

秋に開催するPTA研修会には毎年300人以上の保護者が参加します。前半の全体研修会は講演会で後半が学年別研修会という二部構成です。平成23年度は富山県立大学で社会学を担当し学内のキャリアセンタ―所長も務めておられる奥田實教授に「学歴問題と受験勉強」と題して講演いただきました。厳



めしいタイトルとはうって変わり、お話は面白く、分かりやすい内容で「そもそも学歴とは」「受験勉強は将来役に立つのか」という親の素朴な疑問に答えるインパクトがあり、受験生を抱える親の距離の置き方についても言及され、一時間では足りない内容でした。学年別の研修会では先生方から学校での生徒の様子や大学入試のしくみなど情報を提供してもらいます。子どもの進路設計への助言や受験に対する親の心構えについて考える良い機会になるとともに、子どもと話し合うきっかけになっていると思います。本校では、PTA総会や全体研修会、体育大会や文化祭の学校行事など主だった行事に大勢の保護者が参加します。砺波高校の生徒は、真面目で素朴な生徒が多いと地域から評価されていますが、保護者も教育に対する関心が高いように思われます。



子どもたちは勉強・部活動にハードな毎日を送っています。指導に対して子どもたちが素直に受け入れ忠実に従うことと一人ひとりの個性や創造性を伸ばすことが矛盾するように思われがちですが、基礎・基本が身に付いていなければ、本当の個性・創造性は発揮されないと理解すべきです。これからもPTA活動が学校教育を理解し、親子の信頼関係を築くための手助けになればと願っています。

砺波高校PTA会長 瘧師富士夫

家庭教育委員会報告

本年度、家庭教育委員会では「社会の秩序を守り、社会に貢献する意識を持てる子どもの育成」をテーマに協議し、以下の提案をさせて頂くことに決定しました。

会員各位におかれましては、家庭教育とは、共に学び共に育まれるものという共通認識に立っていただき、各校において更に議論を深めていただければ幸いです。

委員長 橋爪 政信

一 誰にでもきちんと挨拶できる人になってほしい。

※親から率先して挨拶しよう

二 コミュニケーションを大切にし、より良い人間関係を築ける人になってほしい。

※先ず親子のコミュニケーションを深めよう。

三 自ら考え判断し、行動に責任を持てる人になってほしい。

※親が自ら責任ある行動姿勢を見せよう。

四 社会のルールを守り誠意と思いやりを持つ人になってほしい。

※家庭の中でのルールを守ることから始めよう。

五 努力を惜しまず、学ぶこと働くことの大切さが解る人になってほしい。

※家庭の一員としての自覚を高め、家庭の連帯感を深めよう。

ご案内

「平成24年度北信越地区高等学校PTA連合会研究大会富山大会」

期 日 平成24年7月6日・7日

場 所 富山市芸術文化ホール(オーバードホール)他

記念講演 昭和女子大学学長 坂東眞理子氏

新年度教育関係予算の充実を 知事に直接要望する

県高P連では1月13日、毛利一朗会長と5名の副会長が県庁に石井隆一知事を訪ね、以下の4項目を重点に新年度県立学校の教育振興を要望しました。

①県立学校教育振興計画の着実な推進

全ての県立学校教育の振興充実
探究科学科、科学オリンピックへの支援

②特別支援学校の教育環境の充実

高等特別支援学校の整備
富山総合支援学校の改築整備

③高校生指導等の充実

④第36回全国高等学校総合文化祭 富山大会開催への支援

これに対して、石井知事は、財政厳しい中ではあるが、次代を担う中心は若い人たちなので、教育の振興については充実していかなければならないとして、次のような回答をいただきました。

①県立学校の振興充実については、新たに教育振興基本計画の策定を進めているところであり、学力の向上等によりしっかりと取り組んでいきたい。

探究科学科については、全国に誇れるような素晴らしいものにしていきたい。2年次の理数科学科と人文社会科学科の選択については、生徒の希望を活かしたい。

科学オリンピックは、今年度本大会を開催した。明日の富山県を支え、世界で活躍する人材育成につながるよう取り組んでいきたい。

県立学校の耐震化については、東日本大震災の発生を受けて耐震化方針を見直し、前倒しで早期に完了するよう計画的に進めたい。

②高等特別支援学校の整備については、なるべく早く着手したいと考えている。富山総合支援学校も、順次改築を行っていく予定である。

③不登校は減少しているが、まだ相当数あり、スクールカウンセラーや、小中学校ではスクールソーシャルワーカーにも相談して、丁寧に対応している。不登校は学校の問題であるだけでなく、家庭の

問題もあるので、家庭での配慮もお願いしたい。

④全国高校総合文化祭は、高志の国文学館のオープンから間もない8月初旬に開催される。富山県が教科の勉強だけでなく、文化振興にも力を入れ、創造的人間形成を図っているということをアピールする場になりたい。また、同じく富山で開催されるインターハイにおいても、大きな成果が上がるように取り組んでいきたい。

このあと意見交換が行われ、少数指導や県外大学卒業生のUターンへの支援等について意見が出されました。



知事応接室にて

追記

新年度当初予算では、探究科学科、科学オリンピックへの支援、高等特別支援学校の整備、全国高等学校総合文化祭への支援など、重点要望の全項目について、厳しい財政状況の中、格段のご配慮をいただきました。知事には心からお礼申し上げます。

平成23年度の主な事業

4月26日	22年度第4回理事会
5月12日	第1回幹事会
6月2日	定期総会・第1回企画広報委員会兼第1回理事会
6月中下旬	地区PTA指導者研修会
6月16日	第1回生徒生活指導委員会
6月28日	第1回家庭教育委員会
7月8・9日	北信越地区高P連研究会 会（金沢市）
7月12日	第1回会報編集委員会
8月9日	県P連・高P連教育懇談会
8月25・26日	全国高P連大会（札幌市）
9月20日	第2回企画広報委員会
	第2回理事会
9月29日	第2回幹事会
10月13日	第2回生徒生活指導委員会
10月25日	県高P大会・指導者研修会
12月1日	第2回会報編集委員会
1月13日	新年度教育関係予算の充実を要望
2月14日	第3回企画広報委員会
	第3回理事会

編集後記

今年度の新企画である各学校のPTA活動紹介は、いかがでしたでしょうか。各々の学校独自の特長が出ていたと思います。各学校の参考になればと考え設けた新しいコーナーです。今後もしいろいろな学校を紹介できるように続けていってほしいと願っています。

終わりにになりましたが、今年度の会報発行に際して協力いただき有難うございました。
（会報編集委員長 村上祐